

《課題名》

「睡眠脳波を用いたうつ病の客観的評価法の実用化に関する研究（既存データを用いたシステム評価研究 ～SEEDs Study 1～）」

《対象者》

滋賀医大において「うつ病患者の診断-治療経過に伴う客観的不眠実態調査（睡眠脳波による解析）」および「活動量計と睡眠ポリグラフィー/MSLT との比較検討」研究に参加された方

研究協力をお願い

当科では「睡眠脳波を用いたうつ病の客観的評価法の実用化に関する研究 既存データを用いたシステム評価研究 ～SEEDs Study 1～」という研究を行います。この研究は、「うつ病患者の診断-治療経過に伴う客観的不眠実態調査（睡眠脳波による解析）」および「活動量計と睡眠ポリグラフィー/MSLT との比較検討」研究に参加された方を対象として、睡眠中の1CH脳波計の解析結果と臨床情報の関係を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究の対象となる方で希望される場合はこの研究計画書を閲覧することができます。また、この研究へのデータの希望されない場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

ただし、ご連絡いただいた時点ですでにデータの解析が終了している場合、データ削除のご希望に添えないこともございますので、ご了承ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：睡眠脳波を用いたうつ病の客観的評価法の実用化に関する研究（既存データを用いたシステム評価研究 ～SEEDs Study 1～）

研究期間： 倫理審査委員会承認日～2017年12月31日

実施責任者： 滋賀医科大学 睡眠行動医学講座 角谷 寛

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

健常者・睡眠障害者の抑うつ症状と1CH脳波計により測定された睡眠脳波を元に診断補助情報として計算される13種類の脳波検査結果との関連の強さを検討することが目的です。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

滋賀医大で実施された過去の研究において終夜睡眠ポリグラフ検査あるいはポリグラフを用いた反復睡眠潜時試験（MSLT）を受けた方の既存データ（脳波情報、PHQ-9得点、年齢、性別）を用います。これらのデータを連結可能匿名化し、データの解析を神戸大学生物統計学分野で行

います。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。神戸大学にデータが送付されますが、匿名化され、個人情報が提供されることはありません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 睡眠行動医学講座 角谷寛

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-3632